

授業科目                   社会保障制度論                  

【担当教員名】 横山 和彦	対象学年	1	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

<概要>  
 社会保障は、体制維持の目的をはたすため制度体系を構築している。本講義は、社会保障制度の原理と仕組みを総括的に教授することに目的をおく。社会保障制度を全体的に分析するために総論と、社会保障制度ごとの各論とを設ける。総論とは現代資本主義社会における社会補償制度体系を明らかにするものである。第一に、貧困原因と社会保障制度との対応関係を解く。第二に、適応対象を考える。第三に、経費負担を取り上げる。そして第四に、給付にふれる。各論は、社会保障制度体系を構成する各社会保障制度論である。

<学習目標>  
 これまでの社会保障論は、殆どが社会保障制度論であった、それも逐条解釈的なものである。本講義は現代資本主義社会の歴史的産物で、体制維持である社会保障制度の基本的枠組みを理解することを目的とする。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO	
			番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1~2	序章	社会保障制度研究の課題と方法		講義
3~4	第1章	社会保障の形成過程		講義
5~6	第2章	社会保障の制度体系		講義
7~8	第3章	貧困原因と前提条件		講義
9~10	第4章	適用		講義
11~12	第5章	経費		講義
13~14	第6章	給付		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	日本社会保障の歴史	横山和彦	学文社	1991年・2800円
	社会保障論	横山和彦	有斐閣	1978年
参考書	福祉国家「第6巻」	東京大学社会化研究所編	東京大学出版会	1984~1985年
	転換期の福祉国家「第2巻」	東京大学社会化研究所編	東京大学出版会	1991年
その他の資料				

【評価方法】 単位取得か否かの評価	【履修上の留意点】 授業中の飲食、男子学生の着帽、私語などの禁止
----------------------	-------------------------------------